

ALMA の運用について

Operation Concept of ALMA

立松 健一 [1]

Ken'ichi Tatematsu[1]

[1] 国立天文台

[1] National Astronomical Observatory of Japan

<http://www.nro.nao.ac.jp/alma/J/index.html>

ALMA の運用は、南米チリ現地の「ALMA 観測所」と日米欧にそれぞれおかれる「ALMA 地域センター」によって協力して行われる。ALMA では、観測者がチリ現地に行くことがなく観測を行う「サービス観測」が基本である。また、従来の電波望遠鏡とは異なる特徴、すなわち、天候や電波透明度や観測周波数をもとにどの観測プログラムを実行するかを決める「ダイナミック・スケジュール観測」、電波天文を専門としない研究者でも解析結果が得られる「自動データ解析処理」、データの質を保障する「データ保障システム」などを予定している。チリ現地に赴かないため、事前の観測プログラムの準備のサポート、自動データ処理で満足できない場合のオフライン・データ解析のサポート、などにおいて「地域センター」は重要な役割を果たす。観測公募の案内や、ALMA データのアーカイブおよびデータのデリバリーも地域センターによって行われる。観測 1 年後で公開される ALMA 観測データを使ったアーカイブ天文学のサポートなども地域センターで行われる。